新川センサテクノロジ株式会社

広島県東広島市

生産性向上　需要獲得　担い手確保

ものづくり　サービス

ポイント　発電所や石油プラントを支えるとともに、業界全体の技術レベル向上に寄与するトップメーカー

○長年培ってきた振動監視技術の経験やノウハウで業界の技術レベル向上に貢献
○インフラ・プラント設備を陰で支えるセンシング技術のトップメーカー
○プラントの安全操業をサポートするワンストップソリューションを提供

企業基本情報

所在地	広島県東広島市吉川工業団地４番 22 号
電話 /FAX	082-429-1118/082-429-0804
U R L	http://www.shinkawa.co.jp/sst.html
代表者	代表取締役社長 新川　文登
設立	1994 年
資本金	5,000 万円
従業員数	150 人

会社概要

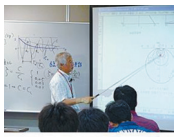
同社は変位・振動センサーから振動監視、解析診断システムに関わる製品・サービスを提供する振動監視計器の専門メーカーであり、発電プラント等で利用される「回転機械状態監視システム」など、タービン監視計器の分野において国内トップシェアを誇る。また、「ISO18436-2 準拠　機械状態監視診断技術者（振動）」の全カテゴリーに対応した国内唯一の認定訓練機関として、振動診断のスペシャリストを養成している業界全体の技術レベルの向上に寄与する企業である。

会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

振動監視技術の経験やノウハウで業界の技術レベル向上に貢献

同社は発電所などのガスタービンや蒸気タービンの軸振動や軸位置を非接触・高精度で測定するセンサー（変位・振動センサー）のトップメーカーであるが、2004 年に一般社団法人日本機械学会が認証する、「ISO18436-2 準拠　機械状態監視診断技術者（振動）」の資格認証制度の正規訓練機関として認定を受け、社内外への訓練セミナーを実施。社内の人材育成にも力を入れており、従業員 150 名中、65 人の資格者を有している。



振動診断士訓練セミナー

センシング技術のトップメーカー

同社のコアコンピテンスである、非接触渦電流式変位振動センサーは、様々な機械の状態監視と解析・診断に使用されており、この分野では国内トップシェアを誇る企業である。

同社の技術は H2A ロケットエンジン用ターボポンプの軸振動計測や、新幹線のレールをメンテナンスする検測車などにも採用されている。一方、今後、無線式センサーや遠隔監視による IoT 時代のための繋がる社会の実現を目指す。

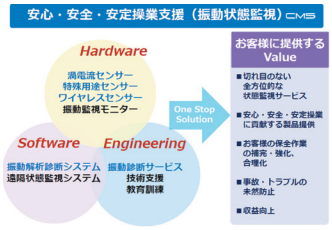
©JAXA

©東日本旅客鉄道株式会社

ロケットエンジンなどにも採用

プラント操業をサポートするワンストップソリューション

同社はセンサー技術を核として、各種センサー（ハードウェア）と診断システム（ソフトウェア）に加え、診断サービスを顧客ニーズに合わせてカスタマイズし、切れ目のない全方位的な状態監視サービスや、顧客の保全作業の補完・強化・合理化、事故・トラブルの未然防止等を実現するワンストップソリューションを提供、スペシャリストの知識を結集して、プラントの安全操業の実現を目指す企業である。



切れ目のない全方位的な状態監視サービス